

自立支援・介護予防に向けた地域ケア個別会議（模擬）

ファシリテーター用

演習の流れ（講師・ファシリテーター用） 講師集合：〇〇：〇〇 ファシリテーター集合：〇〇：〇〇
 （講師：〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇）
 1グループ6～7人程度×16～17グループ（90名）

事前課題	1「ICF 課題分析シート」 2「エコマップ」 3「地域資源調査表」	座席（例） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">e f g</div> <div style="text-align: center;">a</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">d</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> F <hr style="width: 100%;"/> </div> <div style="text-align: center;">b</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">c</div> <div style="text-align: center;">b a</div> <div style="text-align: center;">d</div> </div>	e f g Fファシリテーター
------	--	---	--------------------------

	内容	ファシリテーターの役割
講義 1 14:15 ~14:30 (15分)	<p>1. 目標</p> <p>(1) 多職種が連携し、高齢者の自立した日常生活の支援、介護予防、要介護状態等の軽減を目的とした地域ケア個別会議の開催を推進するため、高齢者の生活課題とその背景にある要因を理解し、尊厳を保ちつつ、個々の高齢者に合った適切な支援方法について提案・助言ができる実践者となる。</p> <p>(2) 高齢者の QOL(生活の質)ならびにケアマネジメントの質の向上を図りながら、課題分析や支援の積み重ねを通じ、地域に共通する課題の発生予防並びに重度化防止を推進できる実践者となる。</p> <p>(3) 要支援者を中心とした軽度者が増え続けている現状において、地域ケア会議の持つ5つの機能(個別課題解決、ネットワーク構築、地域課題発見、地域づくり・資源開発、政策形成)を活用し、新たな地域資源の創設など、高齢者が安心して地域で暮らし続けられることができる、地域包括ケアシステムの構築に寄与する実践者となる。</p> <p>2. 方法</p> <p>(1) 事例を用いたグループ演習を行い、メンバーから提供された様々な情報、意見、気づきを共有する。</p> <p>(2) 共有した内容をもとに地域ケア個別会議を模擬にて実施し、会議の進め方やそれぞれの専門職の役割を認識するとともに、提案・助言の内容ならびにその方法について確認していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例概要 ・ 利用者基本情報 ・ 基本チェックリスト ・ 興味関心チェックシート ・ 介護予防支援アセスメント用情報収集シート ・ テキスト

	<p>3. 事例の再確認 慢性閉塞性肺疾患（COPD）、75歳、男性、独り暮らし、要支援1</p> <p>新規申請で要支援1の認定となり、地域包括支援センターから居宅支援事業所にケアマネジメントが委託され、介護保険サービスを提案したものの、利用にならず委託元の地域包括支援センターに相談している事例。</p>	
<p>演習1 14:30 ～15:10 (40分)</p>	<p>グループワーク（40分）</p> <p>(1) 自己紹介を行い、進行役と書記（兼タイムキーパー）を決める。（または事前に事務局等で決定）</p> <p>(2) “事前課題1「ICF課題分析シート」”と“事前課題2「エコマップ」”をグループメンバーで共有し、グループとしての“演習シート1-1「ICF課題分析シート」(A4)”と“演習シート1-2「ICF課題分析シート」(書記用)(A3)”を作成する。</p> <p>(3) “事前課題3「地域資源調査表」”についてグループメンバーで共有する。</p>	<p>①グループワークの役割が円滑に決められるようにサポートをお願いいたします。</p> <p>②事例のまとめが進んでいない場合に、促し、あるいは作業が進むような簡単なアドバイスをお願いいたします。</p> <p>③時間内で作業が完了するように、時間管理をお願いいたします。</p> <p>④今後の演習に活かせるような点について、後日報告できるように記録をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題1「ICF課題分析シート」 ・事前課題2「エコマップ」 ・事前課題3「地域資源調査表」 ・演習シート1-1「ICF課題分析シート」 ・演習シート1-2「ICF課題分析シート」(書記用)

講義 2
15:10
～15:20
(10分)

1. 地域ケア個別会議とコミュニケーション

高齢者の自立支援に資する助言を行うためには、介護支援専門員をはじめ多様なメンバーと信頼関係を構築できなければならない。そのために最も大切となるのはコミュニケーションである。介護支援専門員へ質問する際にもコミュニケーションの留意点を確認し、アセスメント不足の指摘に終始することのないように心がける必要がある。

会議におけるコミュニケーションの留意点

- ①他人の意見を否定せず、まずは肯定する。
- ②他人の話をさえぎらない。
- ③特定の者だけが喋らない。

2. 地域ケア個別会議におけるルール

地域ケア個別会議を成功に導くためには、会議におけるルールを確認する必要がある。

地域ケア個別会議におけるルール

- ①会議の目的・目標を常に意識して、検討事項に関する具体的な意見を述べる。
- ②発言する時は、5W1H（いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように）を意識して、自分の意見を簡潔に伝える。
- ③すべての参加者が理解できることを考慮して意見を述べる。
- ④他者の発言はしっかりと聞く。
- ⑤反対意見は自分の意見として伝え、相手を批判したり、責めたりするような発言はしない。
- ⑥参加者全員が対等な立場で建設的な話し合いができるよう心がける。

・テキスト

3. 地域ケア個別会議と地域資源

利用者の望む暮らしの実現のためには、地域資源の紹介なども効果的であり、助言者はそれらの情報についても精通しておく必要がある。

また、地域ケア個別会議は、「個別ケースの検討」だけでなく「地域課題の把握」を行う場でもあり、地域で不足している支援やサービス等の創設につなげていく役割も持っている。

4. 地域ケア個別会議と自己決定

地域ケア個別会議は自立を支援するものであり、利用者本人の意思を無視して「サービスありき」の支援や「状態の改善」を強要する支援を行うことは適切でない。すなわち利用者の自己決定のプロセスを重視し、本人の望むその人らしい暮らしの実現を常に意識しながら進めることが大切となる。

なお、地域ケア個別会議はサービス担当者会議やリハビリテーション会議とは異なる役割を持つことにも留意する必要がある。

<p>演習 2 15:20 ～15:30 (10分)</p>	<p>模擬地域ケア個別会議準備 演習 1 で明らかとなった A さんらしさ、A さんの今後の生活への思い、困りごとを踏まえ、A さんの望む暮らしの実現に向けた地域ケア個別会議の開催準備を行う。</p> <p>1. 座席位置の決定 (3分) 指定された役割に適した座席位置を検討する。</p> <p>①事例提供 (委託先) 介護支援専門員 () ②事例提供補助 (委託元) 地域包括支援センター () ③司会 () ④リハ専門職 PT・OT・ST () ⑤管理栄養士 () ⑥歯科衛生士 () ⑦観察者 ()</p> <p>2. 個人ワーク (7分) (1) “演習シート 2 「発言内容検討シート」” と、グループ内で共有した “「地域資源調査表」” の情報を用いて、地域ケア個別会議における発言・助言・提案などの内容を検討し立案する。</p> <p>(2) 会議での配布資料は以下の①～④とする。</p> <p>①事例概要 ②利用者基本情報 ③基本チェックリスト ④興味関心チェックシート (介護予防支援アセスメント用情報収集シートは会議資料とせず、事例提供者・補助者のみ使用)</p>	<p>①役割は事前に事務局で調整し指定します。演習 2 に入る段階でファシリテーターよりグループメンバーへ提示をお願いします。</p> <p>②各役割に応じた座席位置の決定をスムーズにできるようにサポートをお願いします。</p> <p>③個人ワークに関する質問に対応して頂きます。その際、演習内容にかかわるような質問の場合には、講師に確認したうえで回答をお願いします。</p> <p>④個人ワークが進んでいない場合に、促し、あるいは作業が進むような簡単なアドバイスをお願いします。</p> <p>⑤今後の演習に活かせるような点について、後日報告できるように記録をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習シート 2 「発言内容検討シート」 ・事前課題 3 「地域資源調査表」 ・事例概要 ・利用者基本情報 ・基本チェックリスト ・興味関心チェックシート
<p>15:30 ～15:40 (10分)</p>	<p>休憩 10分</p>	
<p>講義 3 15:40 ～15:45 (5分)</p>	<p>模擬地域ケア個別会議の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト

<p>演習 3 15:45 ~16:25 (40分)</p>	<p>模擬地域ケア個別会議 (1) “演習シート 2「発言内容検討シート」” をもとに、模擬地域ケア個別会議のロールプレイ（役割演技）を行う。 多職種連携と協働を念頭に置き、地域ケア個別会議のメンバーのそれぞれの役割を踏まえた上で、介護支援専門員の立場を尊重し、平易な表現を用いて分かりやすく提案・助言することを心がける。</p> <p>(2) 自己紹介、会議の目的の確認、終了時間の告知など、実際の会議を意識して行う。</p> <p>(3) 観察者は発言をせず、以下の視点で地域ケア会議を観察し、“演習シート 3「観察者メモ」” に記載する。</p> <p>①コミュニケーションの留意点や会議のルールに則しているか。 ②利用者の自立を支援するものになっているか。 ③地域ケア会議の持つ5つの機能が活かされているか。</p>	<p>①演習が止まった場合、あるいは全く異なる方向の演習になっている場合には、促し、あるいは演習が進むような簡単なアドバイスをお願いします。</p> <p>②全体で共有する必要があると考えられるグループがあれば、その理由も併せて、発表の前までに講師に書面にて報告をお願いします。</p> <p>③時間内で模擬地域ケア個別会議が終了するように、時間管理をお願いします。</p> <p>④今後の演習に活かせるような点について、後日報告できるように記録をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習シート 2 「発言内容検討シート」 ・演習シート 3 「観察者メモ」 ・事例概要 ・利用者基本情報 ・基本チェックリスト ・興味関心チェックシート
<p>演習 4 16:25 ~16:40 (15分)</p>	<p>振り返りと発表準備 演習 1 の進行役と書記が担う。</p> <p>(1) 個人ワーク (3分) 与えられた役割ごとに「演じて感じたこと・発言に際し意識したこと」など、観察者は観察して感じたことなどを“演習シート 4-1「振り返りシート」(A4)” に記載する。</p> <p>(2) グループワーク (10分) シートの内容をグループメンバーで共有し、“演習シート 4-2「振り返りシート」(書記用) (A3)” にまとめる。 振り返りは観察者から行い“演習シート 3「観察者メモ」” の内容も共有する。</p> <p>(3) 発表準備 (2分) 発表者を決め発表に備える。</p>	<p>①個人ワークに関する質問があれば対応をお願いします。演習内容に関わるような質問の場合には、講師に確認したうえで、回答をお願いします。</p> <p>②個人ワークやグループワークが進んでいない場合に、促し、あるいは作業が進むような簡単なアドバイスをお願いします。</p> <p>③時間内にグループワークが終了するように、時間管理をお願いします。</p> <p>④今後の演習に活かせるような点について、後日報告できるように記録をお願いします。</p> <p>⑤発表者をグループ内で決定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習シート 3 「観察者メモ」 ・演習シート 4-1 「振り返りシート」 ・演習シート 4-2 「振り返りシート」(書記用)

<p>発表 16:40 ~16:55 (15分)</p>	<p>グループ間発表 演習1の内容（Aさんらしさ、Aさんの今後の生活への思い、困りごと、模擬地域ケア会議開催に向けて準備したこと）を交えながら、“演習シート4-2「振り返りシート」（書記用）（A3）」の内容を発表する。</p> <p>グループ間発表 1回目：奇数グループが偶数グループへ移動して5分で発表する。 入れ替え：1分 2回目：偶数グループが奇数グループへ移動して5分で発表する。 ファシリテータコメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ間発表5分以内、1→2グループへ移動。 （割り切れないグループ数の場合は、最終グループが3グループ間発表をします） ・発表終了後、ファシリテーターからコメントをお願いします。 ・演習シート1-2「ICF課題分析シート」（書記用） ・演習シート4-2「振り返りシート」（書記用）
<p>講義4 16:55 ~17:10 (15分)</p>	<p>講評（講師・ファシリテーター） 感想で終わらせず今後につなげるための講義を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改めて地域ケア会議の5つの機能を確認 ・自立についての東京都のスライド（らしさ）を確認 <p>など</p>	